

総合基礎科目	人間と社会「芸術とコミュニケーション」					
看護学科	選択必修	1単位	演習	平成30年度	前期	1・2・3・4年次
臨床検査学科	選択必修					
科目名	生命と芸術実践演習Ⅶ（複合コミュニケーション表現A） Lives and Art Practice Exercises (Media Arts and Communication)					
担当教員	◎吉田田タカシ 上木成未					
目的	「つくるを通して生きるを学ぶ」 学ぶことがたのしい（幸せに直結した価値がある）という事を知る。 創造的な体験から、思考力・発想力・伝達力などの社会の実践で役立つ技能を身に着ける。 学業で学んだ知識を現場で活かす為に必要な人間力を養う。					
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶことがたのしいという事を知り、主体性を持って取り組む。 ・感じ方、考え方、関わり方などの深度を増す。 					
他科目との関連	「芸術とコミュニケーション（生命と芸術実践演習）」科目群 人間関係とコミュニケーション 相互扶助論Ⅰ・Ⅱ					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	記録等	気づきを明確化する為のモニタリングノートを提出				
	その他	出席率、取組み姿勢など総合的に評価				
評価基準	総合評価で一定基準以上を合とし、未満は否とする。					
教科書	なし					
参考資料						
備考 (受講上注意、 事前学習等)						